

教育改革推進事業

本学では、教育改革推進事業として各学科や事務局より独創的な取組を公募し、大学の教育や研究、その他活動の充実及び活性化を図るために、助成を行っております。今年度は9件の応募があり、以下の事業が採択されました。

その中の一つとして、福祉学科の認知症カフェを紹介します。

平成28年度教育改革推進事業採択一覧

福祉学科	平大認知症カフェ
健康スポーツ科学科	教員養成セミナー
看護学科	生活習慣の見直しプロジェクト
事務局	初年次教育プログラム導入のための組織的な取組み
事務局	教師養成塾の開校の検討
事務局	在学生インタビューによる本学の今後の活動と高大連携活動について検証

「平大認知症カフェ」始まる

10月15日、東北福祉大学に続いて全国で二例目になる大学で認知症カフェを開催する「平大認知症カフェ(福山平成大学を会場にして認知症を学ぶカフェ)」が始まりました。

8月下旬に連絡協議会を立ち上げて、二か月足らずで準備をしましたが、オランダ型の認知症カフェを目指して事前申込みは不要、受付もなしと呼び掛けてきただけに、運営側はどのくらいの人が集まって下さるのか、内心ドキドキしていました。正確な人数の把握はできませんでしたが、連絡協議会のメンバーや福祉学科、看護学科の学生を合わせて42名、認知症の人や家族、地域の皆様が約50名、合計90名程度の参加者でした。この認知症カフェの特徴は、主に住民(高齢者だけでなく、小中高生や大学生も含めて)に認知症について継続的に学んで頂くために国の事業である「認知症サポーター養成講座」を中軸に据え、前後にカフェタイムを設けて、住民同士や住民と専門職の交流を図っていくことです。

参加者からは、飲み物の種類が多くて選ぶのが楽しかった、みんな親切で明るかった、大学の講義室に入るのは初めてで感激した等々、嬉しい感想がたくさん寄せられました。

福祉学科 教授 中司登志美



みゆきレター



第23回 福山平成大学 御幸祭

2016.10.22sat・23sun

経営学科

初めての御幸祭

1年 後藤 沙優風

経営学科では、来てくださった方々の写真を撮り画像を編集してストラップと缶バッジを作りました。私は、カメラ係を担当し家族・友達同士・施設の子から様々な友達の写真を撮りました。

笑っている姿や喜んでいる姿を見て私も楽しく撮影していました。たくさんの方に来ていただき、とても忙しかったですが、色んな方と接することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。先輩たちと交流する事もでき、チームワークやコミュニケーションがいかに大切かを、身を持って経験できました。全体を通して良い思い出ができ、また来年もぜひ参加したいと思いました。



福祉学科

御幸祭での活動報告

准教授 大深 俊明
藤井 宏明

第23回御幸祭での福祉学科の取り組みは、「ソーシャルワークの実際」と題して、パネル展を行いました。福祉学科のカリキュラムの紹介パネルとともに、福祉学科で学ぶ相談援助活動の紹介をしました。

その他にも、看護学科、こども学科、福祉学科の3学科合同企画として、「オレンジリボン」イベントを行いました。こども虐待予防のシンボルであるオレンジリボンを参加者に作ってもらい、そのリボンをパネルに貼りつけます。それ自体が大きなオレンジリボンになる仕掛けです。御幸祭終了後、このパネルは「児童虐待防止推進月間」である11月中、大学内学生ホールのに展示をさせていただきます。3学科と一般参加者のご協力に、この場を借りて感謝申し上げます。



健康スポーツ科学科

参加者多数!

「ストレスチェックをしよう!!」

准教授 中村 雅子

昨年に引き続き、今年度も御幸祭での学科の取組みは、参加者に血圧、酸素飽和度(呼吸状態)測定、唾液によるストレスチェック、身長・体重・体脂肪結果から体年齢の推測等を行いました。御幸祭の2日間を通して昨年同様約200名近い参加者があり、3名の学生スタッフと数名の教員は、殆ど休む暇もない忙しさでした。

昨年は地域の比較的年齢の高い方々の参加者が多かったのですが、今年は、比較的年若いペアやご家族の参加が目立ちました。結果について一喜一憂されており、ほほえましく感じました。



運営委員会

第23回御幸祭を振り返って

第23回御幸祭運営委員会

委員長 行廣 七海



平成28年10月22日、23日の第23回御幸祭を行うにあたり、数々の方々より多くのご協力を賜りました。去年功績を残された先輩方がご卒業し、より一層人数が少ないまま第23回御幸祭はスタートいたしました。また先輩方にノウハウを教えて頂いた学生が実習などの学業で手一杯になり、知識不足の私が委員長を任せられました。そんな御幸祭運営委員会を、学生委員長を始めとする各学科の学生委員の先生、学務課の方が救ってくださいました。親身になって相談に乗って下さり、わからないという不安が少しずつ解消していきました。そして無事に第23回御幸祭を成功させることが出来ました。

第23回御幸祭のタイトルは「New Link!〜新しい絆の御幸祭〜」でした。新しく手伝ってくださった運営委員と新しい絆を結ぶことが出来ました。教職員、学生、地域の方々、企業の方々、この御幸祭にご来場していただいた皆様とも新しい絆を結ぶことが出来ました。そんな御幸祭を皆さんと創ることが出来、運営委員会一同この上ない大切な思い出となったことと思います。開催にあたりご協力・ご支援いただいた皆様には運営委員一同心より厚く御礼申し上げます。

まもなく第24回御幸祭に向けて新たなスタートを切ろうとしています。ご協力・ご支援、そしてご指導をこれからもよろしくお願い致します。

こども学科

こども学科の御幸祭

准教授 大西 理恵子

こども学科の2016御幸祭のテーマは、『夢の星〜ひとりひとり輝けるように〜』でした。学生リーダーが中心となり、学生達自身で企画・運営までほとんどの作業を行いました。当日は、ペーパースートやブラバン作り、ゲームコーナーなど、小さなお子様やご家族連れの方でも楽しめる、こども学科らしい企画が盛り沢山で、多くの方にご来場いただきました。また、今年は「同窓会カフェ」も設置し、多くの卒業生の方と交流をもつことができました。

このような行事の企画・運営経験は、これから保育士・教師をめざす学生達にとって大きな財産になったものと思います。全員が一生涯懸命に自分の役割を全うし、ひとりひとりが輝いた2日間でした。



看護学科

地域の方たちと関わり 学んだ御幸祭

2年 長島 達紀

今回の御幸祭で私たちは例年好評の、妊婦体験、身体測定コーナー(血管年齢、骨密度など)、ハンドマッサージコーナーなどを企画しました。それに加えて「福祉介護器具体験」「高齢者体験」「チャリティーバザー」などの新たな試みを取り入れました。また、全学共通キャンペーン「オレンジリボン」は看護学科からスタートしました。

私はハンドマッサージコーナーを担当しました。ハンドマッサージは来場者の方々と会話をしながら行います。そのため、どちらかに集中すると片方が疎かになってしまうためとても苦労しました。初日はマッサージに集中しすぎてしまい「はい」「そうですね」など単調な言葉での会話になり、あまり良いコミュニケーションが出来ませんでした。二日目は初日の反省点を活かし、「痛くありませんか」「この辺凝っていますね」などの声かけを積極的に行い、そこから会話に発展することを心がけました。そのためか、初日より来場者の方が楽しくマッサージを受けていたように思います。

御幸祭を通じて学んだことはコミュニケーションの大切さと、自分から積極的に行動するという事です。様々な年代・性別の人との関わり方を学び、みんなと成長できた2日間だったと思います。



Topics 学科トピックス

健康スポーツ科学科「大成杯」



健康スポーツ科学科ができて13年が経ちます。学科事業計画の中で、カリキュラム外の中心となるイベントの一つとして、また、学科伝統行事の一つとして、異学年交流を目的とした「大成杯」(健康スポーツ科学科ゼミ対抗運動会)があります。これは、学科設立3年目に初代学科長である大成浄志教授(現客員教授)より優勝杯(大成杯)を寄贈して頂き、毎年行われている行事です。

企画・運営を学生リーダー達が主体で実施し、御幸祭の翌日、10月24日(月)に1年生から4年生までの学生と、学科教員が一堂に集まり、10ゼミに分かれてゼミ対抗戦の運動会を開催しました。卒業生から飲み物の差し入れもあり後輩達への思いやりを感じることができました。

秋晴れのもと、折り返し走、ハリケーン、ゼミ対抗リレー(予選・決勝)、障害物競走、綱引き、バブル相撲、大縄跳びといった、工夫を凝らした種目が行われました。さすがは「健康スポーツ科学科!」といわれるような、全学年が一堂に会して行われることもあり、見る方も興奮する迫力満点な運動会でした。また、最終種目のゼミ対抗リレー(決勝)では、教員チームとして全教員が参加し大いに盛り上がりました!

将来、保健体育教諭や養護教諭、あるいは健康運動指導者やスポーツ指導者などを目指す学生達の行動力や団結力、そして、教員と学生との距離が常に近いことは、健康スポーツ科学科の強みであり誇れるところであると強く感じます。この「大成杯」という学科伝統行事を卒業後も同窓生達が語り、繋がり合えるものとなるよう、今後も学科が盛り上がり続けていくことを楽しみにしています。

講師 高本 健彦

こども学科 教育実習記2016



こども学科の学生は日々保育士資格、幼稚園・小学校教諭免許の取得を目指して学修に励んでいます。2年次、3年次では各自実習に出かけます。特に3つの資格免許の取得を目指す学生にとって

2年次3年次は大変忙しい2年間となります。また、こども学科の教員も毎年夏から秋にかけて多くの実習先を訪問します。私は今年度大分出身のゼミ生Hくんの実習校、つまり彼の母校を訪問しました。新幹線で広島以西に行くことはそう多くありません。車窓からの景色が新鮮でした。

「彼はどんな思いでこの景色を見ながら大分に帰省しているのだろう。」やがて小倉に着いて大分に向かい、翌日、豊肥本線に乗り換えしました。小学校が近づくとなんか子どもたちの声が響いていました。校舎に入ると教頭先生が迎えてくださいました。最初に伺ったのは彼が子どもたちからも先生方からも愛されているというエピソードでした。

「H先生が広島に戻られる時、子どもたちはとても悲しむと思います。」「我々もH先生から若さを貰っているのです。」

そんなお言葉を頂いた時、彼が明るく誠実に実習を遂行できていると信じてことができました。同時に彼を受け入れてくださった学校の子どもたち、先生方に対して感謝の気持ちでいっぱいになりました。

教頭先生のご案内で、彼が実習させて頂いている2年生の教室へ入らせて頂きました。

「こんにちは。」

「だれー、H先生のお父さん?」

そんなやりとりの中、彼とこどもたちの様子を拝見しました。大丈夫、この様子ならばうまく行く。

放課後、彼と2人で話をする時間を頂きました。

「小学校の実習はどうですか?」

「子どもたちがもつかわいくて、すごく楽しいです。」

「子どもたちと毎日しっかり遊んでいますか?」

「毎日、昼休憩にずっと遊んでいます。1日がとても速く過ぎていきます。」

学生の笑顔を本人の郷里まで訪ねるのは、実に感慨深いものだと感じた秋でした。

准教授 三藤 恭弘

看護学科

精神看護学実習を振り返って



3年次では、領域別実習が始まり、今までに成人・在宅・母性看護学などの領域を経験してきました。精神看護学実習では、統合失調症、認知症の患者様を受け持っています。

私の精神科病院に対するイメージは、暗い、怖いところだと思っていました。しかし、実際に行ってみると、廊下は広く、明るい色を基調とした建物、絵画や観葉植物が飾ってあり、一番驚いたのが、窓が多く、日光がたくさん差し込む造りになっていたことです。精神科病院では、症状などにより自由に外出することが出来なため、少しでも日光を浴び、外の景色を見て頂くことが出来

皆さん、グッチやパナソニックという企業のロゴを見たり社名を聞いたことがありますが、皆さんに分かるような有名な企業ブランドは、そのもの自体が企業にとって、有用な経営資源となります。なので、企業は、顧客が一目で、その企業だと分かるブランドを作り、価値あるものに育成しようとして努力しています。この努力は、企業内ではマーケティング部門だけではなく、全社を挙げて行われるものです。

企業ブランドを価値あるものとして育成及び管理することは、企業にとって重要な課題なので、企業は、価値あるものを作るブランドを作り、価値あるものに育成しようとして努力しています。この努力は、企業内ではマーケティング部門だけではなく、全社を挙げて行われるものです。

経営学科

企業ブランド管理に関する研究



皆さん、グッチやパナソニックという企業のロゴを見たり社名を聞いたことがありますが、皆さんに分かるような有名な企業ブランドは、そのもの自体が企業にとって、有用な経営資源となります。なので、企業は、顧客が一目で、その企業だと分かるブランドを作り、価値あるものに育成しようとして努力しています。この努力は、企業内ではマーケティング部門だけではなく、全社を挙げて行われるものです。

では、なぜ、社内メンバー間の企業ブランドへの認識の差は生じるのでしょうか。そもそも、社内メンバーの企業ブランドへの認識は、ブランドに対する期待と刺激から得られる過去の知識に依存して形成されます。社内メンバーは多様な市場環境のもとで、多様な情報から刺激を受けて働いています。例えば、営業担当者は、仕事の内容からして、生産や物流を担当する人たちと違って、市場で顧客との会話を通じて、顧客が認識する企業ブランド情報を得て、企業ブランドを理解しています。このように、社内メンバーは、それぞれ異なる環境から得られたブランド情報から意思決定基準を形成するため、同様な企業ブランドでも異なる解釈をされることとなります。

講師 徐恩之

福祉学科

Cerezo(セレッソ)を活用した 国家試験対策が始まりました



2015(平成27)年度に導入された「学修支援システムCerezo」を活用した、福祉学科オリジナルの国家試験対策が始まりました。

目指し、毎年、福祉学科の学生が社会福祉士国家試験にチャレンジしています。しかし、社会福祉士国家試験の合格率は全国平均で3割に満たないという壁(過去10年間の平均では26.9%)の前に、多くの先輩たちが涙を流してきました。

そこで今夏、「Cerezo」の小テスト機能を用いた「国家試験ドリル」と「国家試験模試」を立ち上げ、受験生たちが夏休みの宿題として取り組みました。

「国家試験ドリル」では国家試験19科目の合計450問を出題。19科目すべての科目での8割以上の正答を合格として、合格を条件に「国家試験模試」が受験できる設定です。そして「国家試験模試」は、国家試験本番に合わせ6割以上の正答を合格条件としました。

受験生たちは見事にすべての条件をクリアし、1月の国家試験に向けてさらに奮闘しています。「Cerezo」での学修の結果は、きっと春に見事なサクラとして花開くことになるでしょう。

1年生から3年生に対しては、講義の中での「国家試験ドリル」の活用も始まっています。今から「合格のつぼみ」を大切に育て、先輩たちが続いて、先輩たちを超える、満開のサクラを咲かせて欲しいと思います。

また、来年度には、精神保健福祉士国家試験と介護福祉士国家試験にも対応した、「国家試験ドリル」と「国家試験模試」の開講を計画しています。「Cerezo」を活用したこの取り組みによって、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の福祉三福祉士すべてがサクサクの吉報が届くことを願っています。

※Cerezoはスペイン語で「桜」を表します。

准教授 杉本 浩章

オープンキャンパスに「へいちゃん」登場



今年度広報委員会が公募し、福山平成大学公式マスコットキャラクターとして決定した「へいちゃん」が8月20日の体験入学会と9月3日の見学会に登場しました。今後は、学内のさまざまな式典やイベント等に参加する予定です。へいちゃんを見かけたら是非声を掛けてあげてください。



入口で参加する高校生に手を振って迎えるへいちゃん

平成28年度 サークル活動記録

男子バレーボール部

2016/12/1現在

平成28年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会広島県ラウンド	7/17	猫田記念体育館	優勝	※中国ラウンド出場決定
平成28年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会中国ブロックラウンド	9/17～18	やまぐちフレッシュパーク	優勝	※平成28年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンド(12/16～25東京体育館)出場決定
第84回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会(1部)	10/15～30	福山平成大学 他	個人賞 敢闘賞 スパイク ブロック リベロ	勝岡 聖斗(健スポ4) 野中 聖吾(健スポ3) 迫田 郭志(健スポ2) 矢野 利紀哉(健スポ3)
第69回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	11/28～12/3	稲永スポーツセンター 他	3回戦敗退	
平成28年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会	12/16～25	東京体育館		

女子バレーボール部

第84回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会(1部)	10/15～30	福山平成大学 他	6位(0勝10敗)	入替戦:1部残留決定
第69回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	11/28～12/3	大田区総合体育館 他		

剣道部

第63回中四国学生剣道優勝大会	9/4	岡山市総合文化体育館	男子・女子とも予選リーグ敗退
第43回中四国女子学生剣道優勝大会			
第10回広島県学生剣道選手権大会	11/27	広島修道大学	
第36回中四国学生剣道新人大会	12/11	広島県立総合体育館・武道場	

ソフトテニス部

第66回中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会		松江市総合運動公園庭球場	男子団体 2位 男子ダブルス 準優勝 ベスト4	小濱 翔(健スポ3)・青木 佑風(健スポ3)・小濱 晴也(健スポ1)・生林 祥輝(健スポ4)・多胡 美有紀(健スポ2)・宮平 章弘(健スポ4)・片山 諒(健スポ3)
第66回中国学生ソフトテニス選手権大会	8/21～25		女子ダブルス 優勝 男子シングルス 優勝 ベスト4	小濱 翔(健スポ3)・青木 佑風(健スポ3)・小濱 晴也(健スポ1)・生林 祥輝(健スポ4)・多胡 美有紀(健スポ2)・宮平 章弘(健スポ4)・片山 諒(健スポ3)
第66回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会			女子シングルス 優勝	多胡 美有紀(健スポ2)
平成28年度第62回中国・四国学生ソフトテニス選手権大会	9/17～19	今治市営スポーツパーク テニスコート	男子団体 ベスト8 女子団体 2回戦敗退	福山平成大学B 小濱 翔(健スポ3)・青木 佑風(健スポ3)・小濱 晴也(健スポ1)・生林 祥輝(健スポ4)・多胡 美有紀(健スポ2)・宮平 章弘(健スポ4)・片山 諒(健スポ3)
平成28年度第63回中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス選手権大会	11/18～21	キリンビバレッジ周南テニスコート	男子団体 ベスト8 女子団体 優勝	上良 愛海(健スポ3)・小林 美砂(健スポ4)・小濱 翔(健スポ3)・青木 佑風(健スポ3)・小濱 晴也(健スポ1)・生林 祥輝(健スポ4)・多胡 美有紀(健スポ2)・宮平 章弘(健スポ4)・片山 諒(健スポ3)

軟式野球部

平成28年度第21回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦	8/25～9/24	福富多目的グラウンド 他	優勝	※第33回西日本大学軟式野球選手権大会(11/4～神戸)出場決定(10年連続10回目)
第33回西日本大学軟式野球選手権大会	11/4～9	神戸総合運動公園野球場 他	第3位	

水泳部

第92回日本学生選手権飛込み競技大会	9/1～4	福山市緑町公園屋内競技場(ローズアリーナ)	男子団体 準優勝 女子団体 準優勝 男子3m飛板飛込 6位 男子高飛込 8位 女子3m飛板飛込 4位 女子高飛込 6位	野口 基勝(健スポ1) 新良 貴優(健スポ4) 新良 貴優(健スポ4) 野口 基勝(健スポ1) 寺岡 双葉(福祉3) 宮上 暁(こども2) 寺岡 双葉(福祉3) 宮上 暁(こども2) 内藤 帆乃夏(こども2)
第71回国民体育大会	9/9～11	盛岡市立総合プール	男子3m飛板飛込 7位 男子高飛込 2位 女子3m飛板飛込 8位 女子高飛込 6位	新良 貴優(健スポ4) 新良 貴優(健スポ4) 野口 基勝(健スポ1) 寺岡 双葉(福祉3) 内藤 帆乃夏(こども2) 寺岡 双葉(福祉3)
第14回中国四国学生秋季水泳記録会	10/9	松山中央公園プール アクアパレットまつやま	100m自由形 女子 2位 200mバタフライ 女子 3位 200m自由形 女子 4位 400m自由形 女子 5位 200mフリースタイル 女子 1位 400mメドレーリレー 女子 6位	奥山 果歩(健スポ4) 丸山 夏奈(健スポ1) 福澤 佳子(看護2) 奥山 果歩(健スポ4) 福澤 佳子(看護2)

学友会執行部

麻薬・覚せい剤乱用防止広島大会	11/9	広島国際会議場「ダリア」		
-----------------	------	--------------	--	--

ソフトテニス部



ソフトテニス部は現在、男子27人、女子20人で活動しています。多くの大会に出場し良い成績を出せるよう、みんなで日々頑張っています。主な試合結果としては、女子は全日本ソフトテニス王座決定戦大会出場、男子は中国・四国ソフトテニス選手権大会個人戦ベスト4、団体戦準優勝という結果を残しました。また大会に出場し勝つことだけでなく、ソフトテニスを通して社会で通用する人材育成を目標に活動しています。これからもチーム全員で頑張っていけますので応援の程宜しくお願いします。

剣道部



福山平成大学剣道部は、現在男子部員12人、女子部員4人の計16人で活動しています。目標達成を目指し、主将を中心に日々の稽古に取り組んでいます。また、剣道の技術を高めるだけでなく、ひどい状況に置かれた時でもその壁を乗り越えたイメージを持ち、結果を出すためにどんなことでも我慢できる忍耐力や仲間と切磋琢磨し合いながら成長できるよう、努力し続けています。試合結果としては、広島県学生剣道大会では、男子優勝、女子三位という結果を残しました。目標としている全日本インカレに出場し、1つでも勝ちあがれるよう一日一日の積み重ねを大切にしていきたいと思っています。

女子バスケットボール部



女子バスケットボール部は、昨年の県リーグ戦では4位中国大会では2部から1部へ昇格、人数は9人と少ないですが、過去最高順位を獲得できました。自分達で練習メニューを考え楽しく練習しています。練習も週3回なので勉強やバイトで悩んでいる人でも参加しやすいと思います。実際メンバー全員バイトをしていますし、様々な学科の人がいるので力になれると思います。とても自由な部なので気軽に体験しに来てください！

大学行事日程

2016

12月

行事

10 土 推薦入試(B日程)
21 水 冬期休業開始
28 水 仕事納め

学務関係

21 水 後期集中講義開始

2017

1月

行事

5 木 仕事始め
7 土 冬期休業終了
10 火 授業開始
13 金 センター試験会場設営
14 土・15 日 大学入試センター試験
30 月 後期授業終了
1/31 火～2/3 金 前期入試(A日程)

学務関係

2017

2月

行事

15 水 学部学科別行事
28 月 前期入試(B日程)
22 水

学務関係

4 土 後期定期試験
14 火

2017

3月

行事

1 水 春季休業開始
11 土 後期入試
18 土 春の見学会
21 火 学位授与式(卒業式)

学務関係

平成29年度 入学試験日程

一般選抜試験

AO入試

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
前期入試A日程	1月31日(火)・2月1日(水) 2月2日(木)・2月3日(金)	全学部	1月5日(木)～1月24日(火) 消印有効	2月9日(木) 2月17日(金)	
前期入試B日程	2月22日(水)	全学部	2月6日(月)～2月16日(木) 消印有効	2月25日(土) 3月6日(月)	
後期入試	3月11日(土)	全学部	2月27日(月)～3月7日(火) 消印有効	3月15日(水) 3月25日(土)	
センター利用入試(前期)	個別学力試験は課さない	全学部	1月5日(木)～1月24日(火) 消印有効	2月9日(木) 2月17日(金)	
センター利用入試(後期)	個別学力試験は課さない	全学部	2月27日(月)～3月7日(火) 必着	3月15日(水) 3月25日(土)	
第Ⅲ期	3月10日(金)	経営 福祉健康	3月2日(木)～3月8日(水) 必着	3月17日(金) 3月25日(土)	
エントリーシートの提出	1月5日(木)～2月10日(火) 必着	面談結果通知	2月24日(金)		

※備考：平成29年度 大学入試センター試験日程 1/14(土)・1/15(日)



御幸五訓

一、真理を求め、道理の実践を志向する。
二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

平成28年度公開講座報告

今年も地域の方々を対象とした「公開講座」を9月8日(木)～10月13日(木)で全5回開催し、多くの方に受講していただき無事終了することができました。今回のテーマは「教育の問題を考える」で開催しました。また、最終講座終了後に閉講式が行われ伊藤公開講座副委員長の挨拶の後、5講座中4講座以上受講された方に授与される「受講証」が60名に授与されました。



第1講 9/8(木)	体育教育と社会	健康スポーツ科学科 房前 浩二 教授
第2講 9/15(木)	ICT社会と情報リテラシー教育	経営学科 佐藤 真司 教授
第3講 9/29(木)	地域包括ケア時代の福祉教育	福祉学科 杉本 浩章 准教授
第4講 10/6(木)	幼児のこころを考える	こども学科 加知ひろ子 教授
第5講 10/13(木)	性教育を考える	看護学科 若井 和子 教授

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)
発行 福山平成大学
発行日 2016年12月22日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>